

2020年6月10日

学校法人栗原学園  
理事長 谷澤 満 殿

やまた幼稚園  
園長 栗原 弥生

2019年度の幼稚園の教育活動その他の運営の状況について自己評価を実施いたしましたので下記の通りご報告いたします。

## 記

### 1 評価項目

2019年度においては、重点目標及び目標達成のための遂行方法を次のように設定しました。

	客観数値基準	遂行方法
幼稚園全体	IB認定校になる。 年少の入園希望者を120名以上獲得する。 GrapeSeedから卒業する。	・ IB認定校申請 ・ IB-PYPワークショップの開催 ・ PYPコーディネーターの招聘 ・ 未就園児クラスの強化（満3歳児クラス開室）
未就園児	CS調査*「英語も身につけられる幼稚園や保育園」として当園を薦めたいか（以下、推薦意向）の質問項目において、そう思うが70%	・ 入園説明会の実施（毎週） ・ ブログやInstagramでの配信、ビタミンママ等の雑誌への掲載、StockSun社との提携 ・ グリーンライン車内アナウンスによる広報
年少児	推薦意向の質問項目において、そう思うが75%	・ hugnoteにて写真と文章での情報発信 ・ 保育室内レイアウト変更、Learning pit を用いた英語レッスンの開始
年中児	推薦意向の質問項目において、そう思うが60%	・ Exchola 教材の開発 ・ Cambridge English 教材の試用
年長児	推薦意向の質問項目において、そう思うが60%	・ ファミリーデー、キャンプ、劇団四季観劇、Yamata Festival 等の新規企画 ・ マリノスサッカースクール、ミセス・サリヴァン、ピアノ教室の新規開講 ・ バスルートの拡張（武蔵小杉） ・ 預かり保育の拡充 ・ 保護者ワークショップ、講演会（佐藤由美子さん、北山田小学校木内先生）の開催

\*Customer Satisfactionの略。外部委託先からの報告書の語法に倣っている。質問項目の設計は外部専門機関を交えて行い、分析は当園で行う。

## 2 自己評価

2019年度の自己評価に関連する活動の実施状況は次の通りです。

2019年4月	上期目標項目の設定 人事面談 上期キャリアアップシート(*1)の作成
5月	英語レッスン参観 キャリアアップシート遂行方法について月次進捗管理（以降毎月）
6月	ファミリーデー
7月	
8月	
9月	CS調査実施
10月	上期キャリアアップシート提出 上期ワークショップ(*2) 下期目標項目の設定 人事面談 下期キャリアアップシートの作成 保育参観
11月	キャリアアップシート遂行方法について月次進捗管理（以降毎月）
12月	
2020年1月	保育参観
2月	発表会
3月	CS調査実施
4月	下期キャリアアップシート提出 下期ワークショップ(*2)

\*1 幼稚園全体、学年ごとの目標が設定された上で、各人毎の目標項目および遂行方法が設定される。目標の難易度、達成などは、人事考課における参照指標として用いられる。

\*2 CS調査の結果を踏まえて、今後の改善方策について検討を行う。

### 3 評価結果

上記1の目標項目の結果は次の通りです。

客観数値基準			
		目標	実績
幼稚園全体	入園者数	120名	達成
	IB認定校になる		未達
	GrapeSeedから卒業する		達成
未就園児	推薦意向	70%	64.7%
年少児	園での子どもの様子がよくわかる		61.4%
	自分で考え行動する子		44.6%
	推薦意向	75%	37.5%
年中児	園での子どもの様子がよくわかる		45.1%
	自分で考え行動する子		37.3%
	推薦意向	60%	51%
年長児	園での子どもの様子がよくわかる		54.2%
	自分で考え行動する子		44.1%
	推薦意向	60%	51%

### 4 改善方策

推薦意向と強い相関が見られる「園での子どもの様子がよくわかる」の項目を主な指標とし、「そう思う」の回答率を上げることを目指している。「自分で考え行動する子」は参考指標にとどめている。

「園での子どもの様子がよくわかる」ための方策として、昨年に引き続き、hugnoteを用いて写真と文章を配信している。その日の話題を写真付きで報告することができる。両親だけでなく祖父母等もアプリの利用が可能なことから、多くの方に子どもの成長を見ていただけるメリットもある。週に一度、英語レッスンを担当している教員からも報告があり、内容は更に充実するようになった。

hugnoteでは子どもの様子と併せて、IBが提唱する「10の学習者像」についても記載するようにし、学びの共同体の一員として保護者のIBへの理解を促している。

保育室の壁面は子どもたちの活動報告の場として活用し、活動の経過や探究学習のまとめを掲示するようにしている。来園時には他クラスのものも含めて、これらの掲示に見入る保護者の姿があった。

保護者面談では発達指標の結果を使い、写真や動画を見ながら、視覚的に理解が深まるように工夫をしている。